

歴史(安土桃山時代②・没落編)

豊臣秀吉は、ものさしやますを統一するとともに、①_____ (全国の田畑の面積や土地のよしあしを調べる)を行い、予想される収穫量を米の体積である②_____ であらわした。また、③_____ ために④_____ を命じて、農民や寺社から刀や弓、鉄砲などの武器を取り上げた。これらの政策によって、武士と農民を区別する⑤_____ が進み、それぞれの身分が固定され、社会は安定していった。

1592年、秀吉は明の征服をめざして、15万人の大軍を朝鮮に派遣した(⑥_____ の役)が、明の援軍や⑦_____ の水軍により押し戻された。その後、明と講和を結ぼうとしたがまとまらなかったため、1597年に再び出兵した(⑧_____ の役)が、苦戦が続き、秀吉が病死したのをきっかけに全軍引きあげた。